

toiee Lab 亀田



ChatGPT (生成系AI) と

全方位学習

Web寺子屋

- 好きでもない
- 意見不明
- やらされ感
- 結果重視

- (ex) テスト
- 宿題
- 学びの
- 意味 (目的手段)

- ① 目的は何?
- ② 何で? 大きい
- ③ なぜ? 大きい

内容

- ChatGPT（生成系 AI）とは何か？
- ChatGPTというテクノロジーを「歴史」で考えてみる
- これからの時代に、何が求められるか？
- 全方位学習の基本コンセプト
- ChatGPT × 全方位学習

Chat GPTとは？

- Open AI というベンチャーが生み出した「チャット形」のAI
- 膨大な過去の資料（インターネット、書籍など）を読み込み、整理整頓してストック
- そのストックを使って、自然言語（チャット）を理解し、回答を考えだして答えるプログラム
- 2023年現在、社会的な関心をひいている（学校教育、企業、仕事、行政・・・）

まずは、小さく使ってみるのが良いです！！

我が家では？

- テクノロジーを積極的に触らせることにしている
- デジタルカメラに興味が出てきたら、触らせた（古いものを）
- iPadに興味が見れたら、どんどん触らせた
- iPhoneも同様（使う時に、心配事を伝え、自分で考えさせる）
- ChatGPTも当然「どうぞ！」とする
- 良い使い方を考えて、自分の勉強に使えばOK（ズルするためではなく）

新テクノロジーと社会

電卓で考えてみよう

- 昭和44年(1969年)頃から、小型電卓が普及開始
- 教育問題の議論が出てくる
 - 電卓は、「頭を使わずに」計算ができてしまう
 - 宿題で使ってしまうと「頭を使わない」ので問題だ
- 文部省(文科省)は、1970年から「電卓を学校に配置する10ヵ年計画」を開始
- 1975年に、業界主催の教育向け電卓教室を開催

現代から見てもみると、どう感じるか？

計算機が肩代わりしたものは？

「そろばん」や筆算をひたすら頑張るべきなのか？

- 計算を鍛錬する必要性がなくなった
- その先ができるようになったのではないか？
- 例) 計算に惑わされず、集計し、分析に時間を使える
- 例) 計算のダブルチェックをせず、他のことができる

Googleの登場と教育の反応

- Yahoo!が「手動で分類」している世界にGoogleが登場
- 膨大なインターネットの世界から情報を探してくれる
- Googleで検索したら、どんどん記事が見つかる
- 頭が悪くなるのでは？

- 「肩代わりしてくれるものは何か？」

モラルや構造と、分けて考えれば良い

- 「ズル」をすること自体が問題である
- あるいは「ズル」してでも、課題をやったことにする環境に問題がある
- 「自分のために何を学ぶ必要があるか？」を自覚していれば、良い使い方を
するはず
- 単なるハードルを越えさせるような教育や試験をすることが問題である
- もちろん「ズル」しないような教育も大事だけでも

現在の教育

- パソコン普及計画（10ヵ年？）
 - iPhoneは登場して、10年以上経った
 - iPadも10年近くになる
- 学生にパソコンを配っている状態
- そんな中、ChatGPTが登場した

ChatGPTを理解する質問

- 「肩代わりしてくれるものは、何か？」
- 「肩代わりできないものは、何か？」

ChatGPTが、肩代わりしたものは？

- Googleの検索結果を複数チェックして、まとめ直す作業
- 複数の人が同じことを言っていれば「概ね正しい」と判断すること
- 大量の情報を、箇条書きにまとめる
- いろんな人の言い回し、表現を参考に「文法、表現ミス」を修正する

- つまり「**情報をかき集めて、整理する**」を肩代わりしている
- じゃあ、それ以外を人間がやれば？

積極的に使えばいい

- 英語の例文をたくさん出してもらって、使い方の雰囲気を理解する
- 知らない分野の概要を理解する
- アイデアの無難な叩き台を用意する
- よくあるパターンを探さず、教えてもらおう

今後の発展

- ChatGPTは、今後、もっと発達する
- たくさんの情報、知識を溜め込んでいく
- 言語化され、一般化された「情報、知識」のストックは、ChatGPTに聞いた方がいい
- 既に、wikipedia では実現しているが、誰もが手が届きやすくなった
- 例) パソコン → スマホ

肩代わりできないもの

- ・ ストックされていないものを提供する
 - ・ 「創造性」「オリジナリティ」あるもの
- ・ オリジナルとは、どこからくるか？
 - ・ アイデアとは「既存のもの、新しい組み合わせ」
 - ・ 私たち一人ひとりの「縁起」（体験、環境、状況、歴史、場所、触れたもの人々）から、新しい組み合わせを生み出す
 - ・ つまり「身の回り」から始めたら良い

全方位學習

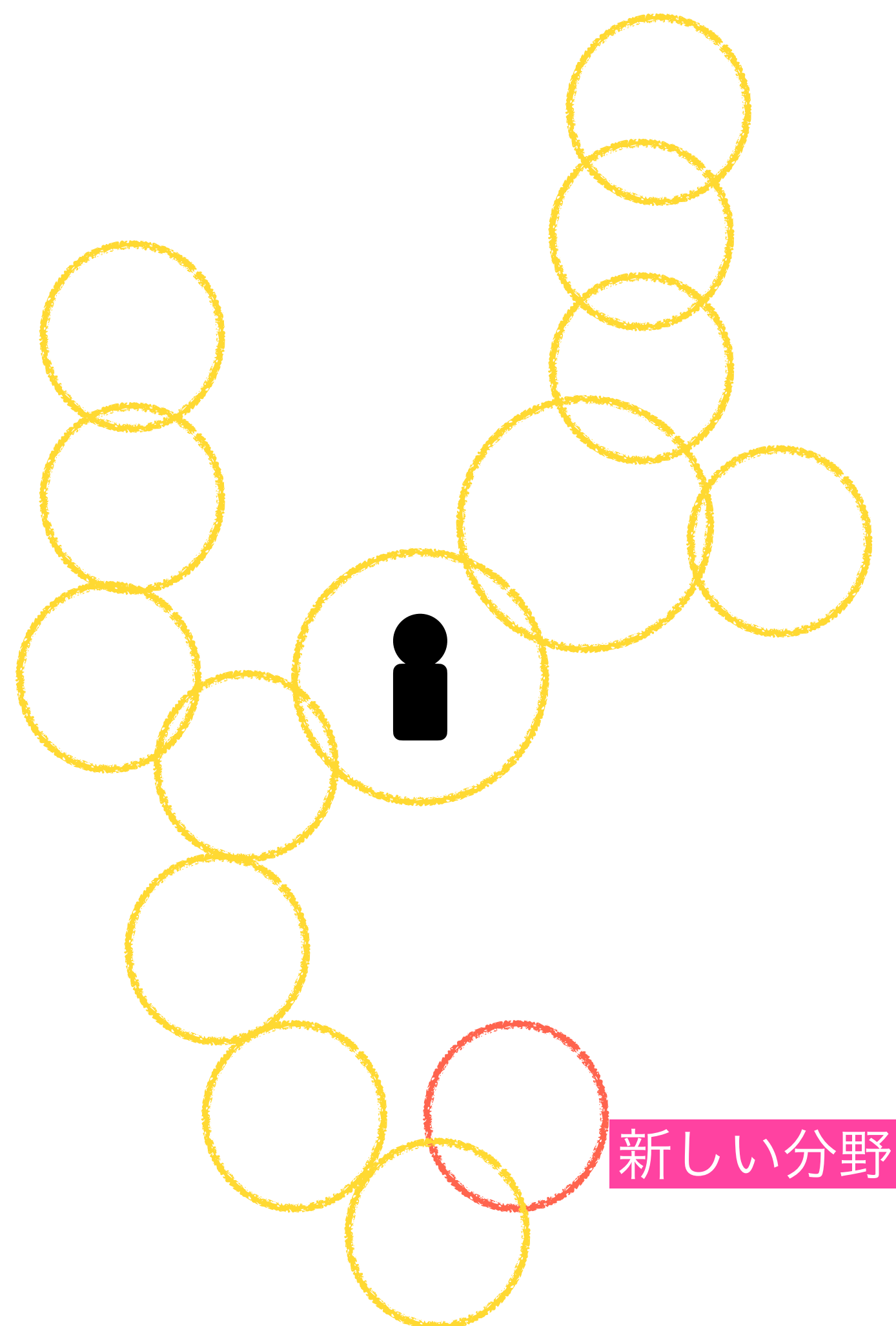
コンセプト

- ここでの「学ぶ」は、小さな発見、小さな成長、小さな気づきを含む
- どんな場所でも、どんな状況でも、どこでも「学ぶ」
 - 例) 家事、コーヒー、料理、つまらない学校の勉強
- 私たちの身の回りには「知識」や「技術」の塊がたくさんある
 - 例) 電車、自転車、炊飯器、電子レンジ・・・

自分の周りから始めて「広く」する

全方位学習

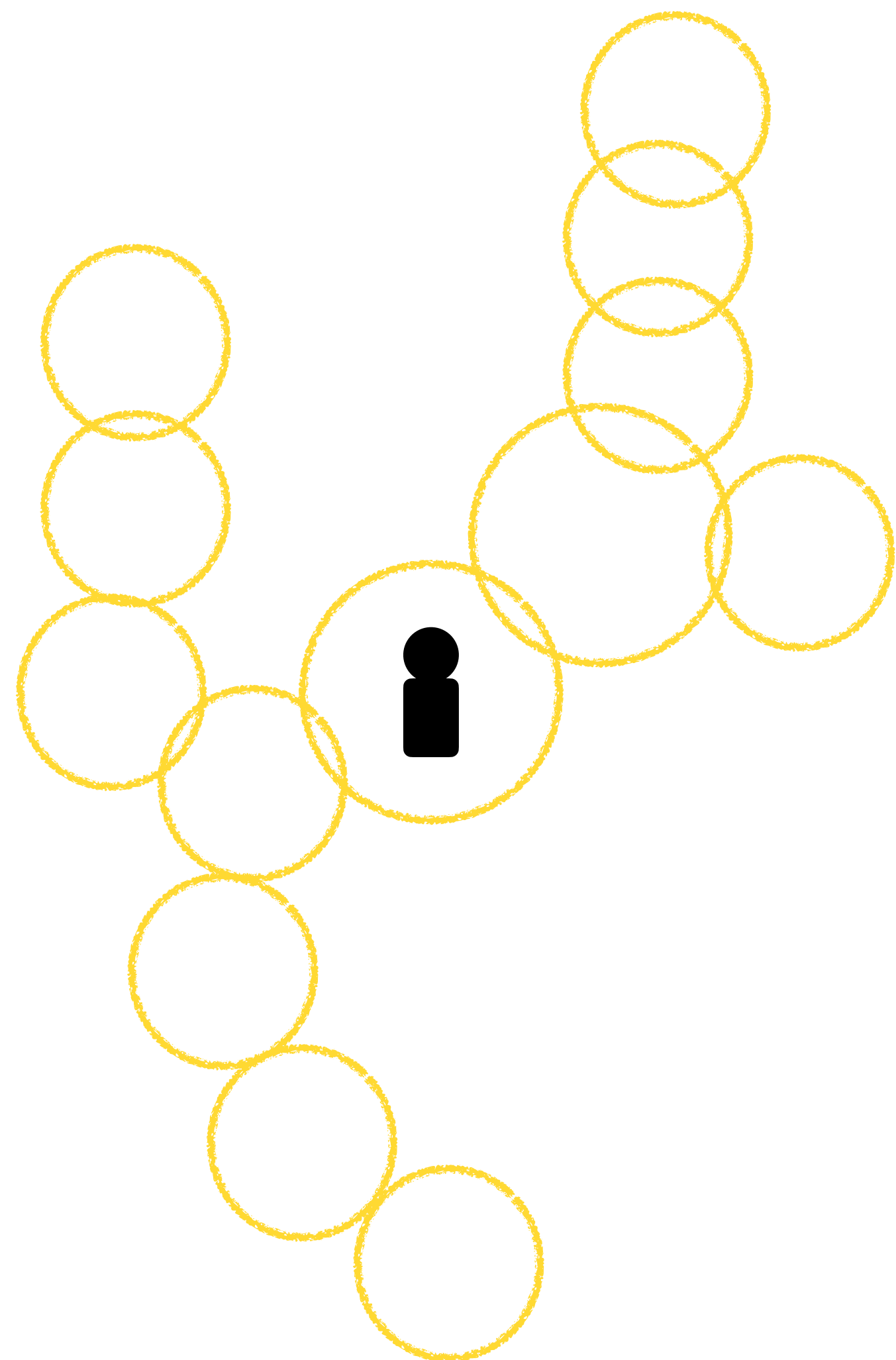
学校教育



ChatGPTと、学習

自分の周りから始めて「広く」する

全方位学習



- 自分の興味、関心を広げることを手伝ってくれる
- 新しい分野を広げるのに役立ってくれる
- 起点は「自分」となること
- オリジナル、創造的なところへつながる

全方位学習II

- 自分の学習の仕方に注意を向け、改善し続ける
 - 例) ChatGPTの使い方に注意を向け、使い方を改善し続ける
- どんどん、良い使い方を考えていく
- 自分の興味、関心、好奇心、やりたいことのために使う
- ズルという概念なんてない

まだ使っていない人へ

- とりあえず、使ってみよう！
- 遊びでいい（ふざけて使ってもいい）
- 探求してみよう
- あれこれ使い方を変えてみよう
- 即戦力を期待しないように（あくまでも道具、使い方次第）